

章	節	項目	ランク	Updated: 2017/12/14
序章	生産管理とは			
§1	生産管理概論			
①	生産管	1生産管理の基本機能		
		1主な管理指標		
		(1)生産性	A	[2次] 論点
		(2)POCSME	S	[2次] 論点
		2設計・組立・作業	A	[2次] 論点
		3生産の4M	S	[2次] 論点
		4生産の合理化・改善およびその他		
		(1)3S	S	[2次] 論点
		(2)5S	SS	[2次] 論点
		(3)ECRSの原則	S	[2次] 論点
		(4)5WH	B	
		(5)自主管理活動	A	[2次] 論点
		(6)安全衛生管理に関する用語	B	
		(7)複数台もち作業	A	[2次] 論点
		(8)その他重要用語	A	[2次] 論点
	2生産形態			
		1受注生産と見込生産		レイアウトの後、②生産方式とセットで押さえる
		(1)受注生産	S	[2次] 論点
		(2)見込生産	S	[2次] 論点
		2個別生産・ロット生産・連続生産		
		(1)個別生産	S	[2次] 論点
		(2)ロット生産	S	[2次] 論点
		(3)連続生産	S	[2次] 論点
		3多品種少量・少量多品種生産		
		(1)多品種少量生産	S	[2次] 論点
		(2)小種多量生産	S	[2次] 論点
§2	生産のプランニング			
①	工場の設備配置(レイアウト)			
	1	設備配置(レイアウト)		レイアウトは独立論点。
		(1)固定式レイアウト	S	
		(2)機能別レイアウト	S	
		(3)製品別レイアウト	S	
		(4)セル生産レイアウト	S	
	2SLP			
		1SLP	A	
		2SLPの進め方		
		(1)P-Q分析	A	
		(2)物の流れ分析	A	
		(3)アクティビティ相互関係図表	A	
		(4)アクティビティ相互関係ダイヤグラム	A	
		(5)面積相互関係ダイヤグラム	A	
		(6)レイアウト案の作成	A	
②	生産方式			
	1	ライン生産方式		
		1ライン生産方式の特徴	S	[2次] 論点
		2ラインバランシング	S	[2次] 論点
		3ラインバランシングの手順	S	[2次] 論点
		4ラインの形態	S	[2次] 論点
	2	セル生産		
		1グループテクノロジー	A	[2次] 論点
		2Uラインと1人生産方式		
		(1)Uライン	A	[2次] 論点
		(2)1人生産方式	A	[2次] 論点
		(3)セル生産のメリットまとめ	A	[2次] 論点
	3	管理・生産方式		
		1JIT		
		(1)トヨタ生産方式(リーン生産方式)	A	[2次] 論点
		(2)JIT	A	[2次] 論点
		(3)自動化	A	[2次] 論点
		(4)かんばん方式	A	[2次] 論点
		(5)JITの導入要件	A	[2次] 論点
		(6)JITの効果	A	[2次] 論点
		2オーダーエントリー方式	A	[2次] 論点
		3生産座席予約方式	A	[2次] 論点
		4製管管理方式	A	[2次] 論点
		5過管理	A	[2次] 論点
		6その他の生産方式		
		(1)アジャイル生産	A	[2次] 論点
		(2)組立生産	A	[2次] 論点
		(3)プロセス生産	A	[2次] 論点
		(4)モジュール生産	A	[2次] 論点
		(5)常備品管理方式	A	[2次] 論点
③	製品の開発・設計とVA/VE			
	1	製品開発・製品設計		
		1製品開発		③製品開発VE~④生産技術は「2次」で出ない。後回してOK
		(1)製品ライフサイクル	B	
		(2)顧客満足を得るための製品開発	B	
		2製品設計		
		(1)製品設計	B	
		(2)機能設計	B	
		(3)生産設計	B	
		(4)組立容易性	B	
		(5)コンジョイント分析	B	
		(6)フロントローディング	B	
		(7)デザインレビュー	B	
		(8)マーケットイン	B	
	2	VA/VE		
		1VE5原則	B	
		2VEにおけるValue:価値	B	
		3VEにおける機能とコスト		
		(1)機能	B	
		(2)コスト	B	
④	生産技術			
	1	加工技術		
		1切削・研削	C	
		2塑性加工	C	
		3熱処理	C	
		4化学処理等	C	
		5鍛造加工	C	
		6その他の加工法	C	
	2	自動機械		
			B	
⑤	生産計画と生産統制			
	1	生産計画		
		1生産計画		
		(1)大日程計画	A	[2次] 論点
		(2)中日程計画	A	[2次] 論点
		(3)小日程計画	A	[2次] 論点
	2	スケジューリング		
		1生産スケジューリング		
		(1)フローショップ・スケジューリング	A	
		(2)ジョブショップ・スケジューリング	A	
	3	プロジェクト・スケジューリング		
		1ガントチャート	S	
		2PERT		
		(1)アローダイヤグラム	S	
		(2)CPM クリティカルパスメソッド	S	
4	需要予測			
		1需要予測とOR		
		(1)オペレーションズリサーチ	B	
		(2)需要予測	B	
		2移動平均法		
		(1)単純移動平均法	A	
		(2)加重移動平均法	A	
		3指数平滑法	A	
		4線形計画法	A	
	5	生産統制		
		1生産計画に対応した生産統制	S	[2次] 論点
		2在庫管理	S	[2次] 論点
		3現品管理	S	[2次] 論点

章	節	項目	ランク	Updated: 2017/12/14
		4余力管理	S	(2次) 論点
		5生産時点情報管理	B	
		6流動数分析	B	
6	資材管理			
	1	資材管理の概要		
		1資材管理の重要性	A	
		2資材の標準化	A	
	2	需給計画(MRP等)		
		1MRP		
		(1)MRPの定義	B	
		(2)MRPの流れ	B	
		(3)MRP実施の留意点	B	
		2部品(構成)表		
		(1)部品(構成)表の定義	B	
		(2)サマリー型部品表	B	
		(3)ストラクチャ型部品表	B	
7	在庫管理・購買管理			
	1	在庫管理の概要		
		1在庫が多すぎる場合の問題点	A	(2次) 論点
		2在庫が少なすぎる場合の問題点	A	(2次) 論点
	2	発注方式		
		1定量発注方式		
		(1)安全在庫	S	(2次) 論点
		(2)発注点	S	(2次) 論点
		(3)経済的発注量EOQ	S	(2次) 論点
		2定期発注方式		
		(1)発注量	A	(2次) 論点
		(2)安全在庫	A	(2次) 論点
		(3)ダブルビン方式	A	(2次) 論点
	3	ABC分析		
		1ABC分析の考え方		
		(1)重点管理	A	(2次) 論点
		(2)ABC分析図	A	(2次) 論点
		2ABC分析結果の活用		
		(1)A品目の管理	A	(2次) 論点
		(2)B品目の管理	A	(2次) 論点
		(3)C品目の管理	A	(2次) 論点
		3ABC分析による重点管理の期待効果	A	(2次) 論点
	4	購買管理の概要		
		1購買管理の定義		
		(1)購買管理	B	
		(2)購買計画	B	
		(3)購買管理に関する用語	B	
		2購買管理の原則	B	
		3購買方式	B	
	5	外注管理		
		1内外製(作)区分		
		(1)内外製(作)区分の決定ポイント	A	(2次) 論点
		2外注管理		
		(1)外注管理	A	(2次) 論点
		(2)外注依存度	A	(2次) 論点
		(3)外注の評価等	A	(2次) 論点
		4外部資源の活用		
		(1)アウトソーシング	A	(2次) 論点
		(2)ファブレス	A	(2次) 論点
		(3)OEM	A	(2次) 論点
§3	生産のオペレーション			
2	品質管理			
	1	TQM		
		1SQC(Statistical 統計的)	B	
		2TQC(Total 全社的)	B	
		3TQM(Total Management総合的)	B	
	2	QC7つ道具		
		1パレート図	A	(2次) 論点
		2チェックシート	A	(2次) 論点
		3ヒストグラム	A	(2次) 論点
		4散布図	A	(2次) 論点
		5管理図	A	(2次) 論点
		6特性要因図	A	(2次) 論点
		7層別	A	(2次) 論点
	3	新QC7つ道具		
		1親和図法	B	
		2連関図法	B	
		3系統図法	B	
		4アローダイヤグラム法	B	
		5PDP法	B	
		6マトリックス図法	B	
		7マトリックスデータ解析法	B	
	4	その他、品質管理に関する事項		
		1品質に関する用語	S	
		2検査		
		(1)検査の定義	B	
		(2)検査の種類	B	
		3シックスシグマ手法	C	
		4ISO9000シリーズ、品質マネジメント		
		(1)ISO	C	
		(2)ISO9000シリーズ	C	
3	設備管理			
	1	設備保全		
		2計画と更新		
		1設備総合効率	A	(2次) 論点
		2設備更新	A	(2次) 論点
4	廃棄物等の管理			
	1	環境保全		
		1環境基本法	B	
		2循環型社会形成推進基本法	B	
		3省エネ法	C	
		4ライフサイクルアセスメント(LCA)	C	
	2	廃棄物の処理・管理		
		1ゼロエミッション	B	
		2リデュース・リユース・リサイクル	B	
§4	製造業における情報システム			
1	生産情報システム			
	1	生産情報システムの体系		
		2主な生産情報システム		
		1CAD/CAM/CAE		
		(1)CAD	A	(2次) 論点
		(2)CAM	A	(2次) 論点
		(3)CAE	A	(2次) 論点
		2PDM	B	
		3自動製造システム		
		(1)NC工作機械	B	(2次) 論点
		(2)MC(マシンングセンタ)	B	(2次) 論点
		(3)FMC(フレキシブル加工セル)	B	
		(4)FMS(柔構造製造システム)	B	
		(5)FA	B	
		(6)CIM	B	
2	製造業における情報システム			
	1	SCM		
		2MRPの発展とSCM	B	
第2編	店舗・販売管理			
§1	店舗・商業集積			
1	店舗施設に関する法律知識			
	1	まちづくり三法		
		1まちづくり三法とは		
		(1)まちづくり三法とは	B	
		(2)まちづくり三法の背景と展開	B	

章	節	項目	ランク	Updated: 2017/12/14		
2	大規模小売店舗立地法	1大店立地法の目的	B			
		2大店法と大店立地法の比較	B			
		3大店立地法の対象	B			
		4店舗面積				
		(1) 店舗面積に含まれる部分	B			
		(2) 店舗面積に含まれない部分	B			
		5大規模小売店舗を設置する者が配慮すべき基本的な事項				
		3中心市街地活性化法				
		1中心市街地活性化法の目的	B			
		2中心市街地活性化法の要点	B			
3中心市街地活性化法のスキーム	B					
4平成26年度の改正の主な内容	B					
4	都市計画法	1都市計画法の目的	C			
		2都市計画区域の構成	C			
		3用途地域の種類	C			
		4都市計画法の要点				
(1) 大規模集客施設に係る立地規制	C					
(2) 公共公益施設の開発許可制度	C					
5	建築基準法	1法の目的	C			
		2建築基準法および建築基準法施行令の用語の定義	C			
②	店舗立地と出店					
1	商圏分析	1商圏の種類	B			
		2商圏分析				
		(1) ライリーの法則	B			
		(2) ライリー&コンパースの法則	B			
		(3) コンパースの法則	B			
(4) ハフモデル	B					
③	商業集積					
1	ショッピングセンター(SC)	1SCの構成要素	B			
		2SCの形態	B			
		3SCの事業特性	B			
		4賃料の徴収形態	B			
		2共同店舗				
1共同店舗の開発および運営上の留意事	B					
§2	店舗施設			「店舗施設」は「2次」に出ない。		
①	店舗施設の機能	1店舗施設の機能				
		1訴求機能(知らしめる)	A			
		2誘導機能(入らせる・回らせる)	A			
		3演出機能(魅せる)	A			
		4選択機能(喜ばせる)	A			
		5購入促進機能(買わせる)	A			
		6情報発信機能(伝える)	A			
②	店舗設計					
1	店舗構成	1外装				
		(1) ファサード	A			
		(2) バラベット	A			
		(3) 看板	A			
		2店頭				
		(1) 出入口	B			
		(2) ショーウィンドウ	B			
		(3) 開放度と開放感(透視度)	B			
		2	売場レイアウト	1売場レイアウトの基本		
				(1) 客導線を長くする	A	
(2) 販売効率の向上	A					
(3) 売場生産性の向上	A					
2レイアウト上の考慮点						
(1) 商品のグルーピング	A					
(2) 販売方法	A					
3	什器	1陳列棚・陳列台				
		(1) ゴンドラ	B			
		(2) ひな段型陳列台	B			
		2ショーウィンドウ				
		(1) オープン型	B			
		(2) ボックス型	B			
		3ステージ				
		(1) 置きステージ	B			
		(2) アイランド・ステージ	B			
		4ショーケース				
		(1) クローズドケース	B			
		(2) オープンケース	B			
		(3) リーチインケース	B			
(4) ウォークインケース	B					
4	商品陳列	1陳列の種類				
		(1) 補充型陳列	B			
		(2) 展示型陳列	B			
		2その他の陳列手法				
		(1) エンド陳列	B			
		(2) サンプル陳列	B			
		(3) 島出し陳列	B			
		(4) 平面陳列	B			
		(5) ステージ陳列	B			
		(6) ゴンドラ陳列	B			
		(7) カットケース陳列	B			
		(8) フック陳列	B			
		(9) ボックス陳列	B			
		(10) レジ前陳列	B			
3陳列の留意点						
(1) 有効陳列範囲	A					
(2) コールダウンゾーン	A					
(3) フェイシング管理	A					
③	店舗の照明と色彩					
1	照明	1照明の役割	B			
		2照明の基本的用語(単位)	B			
		3照明方法				
		(1) 直接照明	C			
		(2) 半直接照明	C			
		(3) 半間接照明	C			
		(4) 間接照明	C			
		(5) 全般拡散照明	C			
		(6) その他の方法	C			
		4光源	B			
		5色温度	B			
		6照明器具				
		(1) ダウンライト	C			
		(2) スポットライト	C			
		(3) シーリングライト	C			
		(4) ブラケット	C			
		(5) シャンデリア	C			
		(6) ペンダントライト	C			
		7照明手法				
		(1) ベース照明	C			
(2) 重点照明	C					
(3) 装飾照明	C					
(4) 店内の照度配分	C					
(5) 照明の当て方の留意点	C					
2	色彩	1色の3要素				

章	節	項目	ランク	Updated: 2017/12/14
		(1)色相	B	
		(2)明度	B	
		(3)彩度	B	
		2色相間	B	
		3色相の同化と対比	B	
§3商品・仕入(MD)				「MD」は「2次」に出ない。
(1)MD・商品管理・商品予算計画				
	1マーチャンダイジング			
		1マーチャンダイジングの定義	B	
		25つの適正	B	
		3その他のマーチャンダイジングに関する		
		(1)VMD	C	
		(2)ライフスタイル・マーチャンダイジ	C	
	2商品管理			
	3商品予算計画			
		1商品投下資本粗利益率(GMR01)		
		(1)資本利益率(R01)	S	
		(2)GMR01	S	
		(3)交差比率	S	
		(4)商品回転率	A	
		2売上高予算(販売予算)		
		(1)売上高予算の編成時における主な考	A	
		(2)長期傾向変動による販売予測の手法	A	
		(3)短期傾向変動による販売予測:月間	A	
		売上高の予測		
		3在庫高予算		
		(1)基準在庫法	A	
		(2)百分率変異法	A	
		(3)平均在庫日数	B	
		4購入高予算		
		(1)売価基準と原価基準による値入率	A	
		(2)売価値入率と原価値入率の使い方	A	
	2商品計画			
	1ストアコンセプトと業種業態			
		1ストアコンセプト	A	
		2業種と業態	A	
	2商品構成と品揃え			
		1商品構成(商品ミックス)		
		(1)商品ライン	A	
		(2)商品アイテム	A	
		(3)小売業における商品ミックスの例	B	
		(4)商品ライン拡大のメリットとデメリット	B	
		(5)モノを横割りにした商品構成	B	
		(6)専門性を強化した商品構成	B	
	3商品調達・取引条件			
	1仕入方法			
		1仕入方法		
		(1)大量仕入と当用仕入	B	
		(2)集中仕入と分散仕入	B	
		(3)本部集中仕入と店舗分散仕入	B	
		(4)共同仕入と単独仕入	B	
		2所有者や契約による分類		
		(1)買取仕入	B	
		(2)委託仕入	B	
		(3)売上仕入(消化仕入)	B	
	4価格設定と販売促進			
	1価格設定			
		1小売業の価格政策		
		(1)EDLP政策	B	
		(2)プライスライン政策	B	
		2価格変更		
		(1)特売	B	
		(2)値下げ	B	
		(3)二重価格表示	B	
	2販売促進			
		1インスタマー・マーチャンダイジング		
		(1)ISMとは	A	
		(2)ISMの背景	A	
		(3)ISMの体系	A	
		2LSP	C	
		3カテゴリーマネジメント		
		(1)カテゴリーマネジメントの定義	A	
		(2)カテゴリーの役割	A	
§4物流・輸配送管理				「物流」は「2次」に出ない。
(1)物流機能と物流ネットワーク				
	1物流機能と物流の基礎知識			
		1物流機能	B	
		2物流におけるトレードオフの関係	B	
	2物流ネットワーク			
		1物流チャネル	B	
		2物流拠点配置	B	
	2物流戦略			
	1卸売業の物流戦略			
		1卸売業の物流の現状と課題		「物流センター」として押さえる。
		(1)卸売業の定義	B	
		(2)卸売業の社会的役割	B	
		(3)卸売業の現状	B	
		(4)卸売業の課題	B	
		2卸売業の物流体系および特徴		
		(1)卸売業の物流体系	B	
		(2)卸売業の物流の特徴	B	
		(3)卸売業の物流の高庫内作業	A	
		3卸売業の物流センター構築戦略		
		(1)汎用型	B	
		(2)業態対応型	B	
		(3)企業専用型	B	
	2一括物流システム			「輸配送管理」として押さえる。
		1一括物流	A	
		2一括物流センター(DCとTC)	A	
	3その他の物流戦略			
		1共同輸配送		
		(1)共同輸配送の種類	A	
		(2)巡回集荷	A	
		(3)ユニットロード	A	
		(4)一貫パレチゼーション	A	
		(5)ロジスティクス		
		(1)ロジスティクスの2つの定義	B	
		(2)物流ABC	S	物流ABCは、「物流センター」として押さえる。
		6ロジスティクス関連用語		
		(1)ディカッピング・ポイント	A	
		(2)リパース・ロジスティクス	C	
		(3)グリーン・ロジスティクス	C	
		(4)モーター・シフト	C	
		(5)ブルウォップ効果	A	
		(6)ハブ・アンド・スポーク・システム	C	
		(7)3PL	C	
§5販売流通情報システム				
(1)販売流通情報システムの概要				
	1POSシステム			
		1POSシステムのハードメリット		「店舗情報システム」(POS・JAN・分析・CRM)は、「2次」で
		(1)レジ業務の効率化	A	【2次】 論点
		(2)店内業務の効率化	A	【2次】 論点
		2POSシステムの活用		
		(1)仮設検証型アプローチ	B	【2次】 論点
		(2)自店以外のデータの活用	B	【2次】 論点
		(3)顧客購買データの活用	S	【2次】 論点
		(4)マーチャンダイジングへの活用	S	【2次】 論点
		(5)陳列管理での活用	S	【2次】 論点
		(6)顧客に対するプロモーションへの活	S	【2次】 論点

章	節	項目	ランク	Updated: 2017/12/14			
2	POSシステムのしくみとバーコード	1PLU方式とNon=PLU方式					
		(1)PLU	A				
		(2)Non=PLU	A				
		2ソースマーキングとインストアマーキ					
		(1)ソースマーキング	A				
		(2)インストアマーキング	A				
		3JANコード					
		(1)JANコードを利用する際の留意点	A				
		4その他のバーコード					
		(1)11F	A				
(2)CODE128	B						
(3)2次元シンボル	B						
3	RFID	(1)RFID	A	「コード」は「2次」で問われない。			
		(2)ICタグ	A				
		(3)トレーサビリティ	A				
4	EDI	1EDIの構成		EDIはここでなく、「物流情報システム」として押さえる			
		(1)情報伝達規約	B				
		(2)情報表現規約	B				
		(3)業務運用規約	B				
		(4)取引基本規約	B				
		2EDI化のポイント	A				
		3EDI標準化の必要性	A				
4EDIの歩みとEDIの種類	A						
5	商品識別コード等の流通標準	1流通標準EDI	B				
		商品識別コード等の流通標準					
		(1)GS1	B				
		(2)GLN	B				
		(3)GTIN	B				
		(4)GRAI	B				
		(5)GS1-128	B				
		(6)統一伝票	B				
(7)EPC	B						
6	CRM			「店舗情報システム」論点として押さえる。			
		(1)CRMの定義	B		【2次】論点		
		(2)CRMの活用方法	B		【2次】論点		
		(3)CRMとLTV	B		【2次】論点		
		(4)商品・サービス購入後のインターネット利用とLTV	B		【2次】論点		
②	販売流通業における情報システム	1ECR		EDIを含め、「物流情報システム」として押さえる。			
		1ECRの定義	A				
		2SCMで共有する情報	A				
		3CRP	B				
		4VMI	B				
		5CAO	B				
		6クロスドッキング	A				
		2	QR		1QRの概念	B	
					2SCMラベルとASN		
					(1)SCMラベル	B	
		(1)ASN	B				